

MOBOTIX JAPAN

MOBOTIX JAPAN
株式会社K.J.フェロー

231-0011
横浜市中区太田町6-85
RK Cube 4F
T 045-227-6285
F 045-227-6286
www.mobotix-japan.net
www.kjfellow.com

MOBOTIX JAPAN プレスリリース

2012年11月28日

IP監視カメラLTOテープアーカイブシステム「TapeView MX」を発表 ～巨大化する監視画像アーカイブデータ市場に新たな選択肢を提供～

株式会社ユニテックス（本社：東京都町田市、代表取締役社長：土田義徳）は、世界最大手のメガピクセルIP監視カメラメーカーであるドイツMOBOTIX社の日本総代理店K.J.フェロー（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：戸田 敬樹）とリニアテープファイルシステム（LTFS）を搭載したIP監視カメラLTO5テープアーカイブシステム「TapeView MX」を発表し日本、海外のお客様に販売いたします。

近年、監視カメラの世界においてもデジタル化の流れで、より高解像度の映像(メガピクセル)を録画することができ、より効果的な犯罪捜査の資料として活用することができます。また、犯罪の発生から発覚までに時間を有する傾向にあり、監視カメラの画像をより長期間保存することが要求されております。ただし、従来のレコーダのみのシステムでは、ファイルサイズが大きいメガピクセル画像を長期間保存するには、大容量HDDを用意しなければならず、コストも設置スペースも大がかりなものになりますし、バックアップのためのRAID構築や、HDDの不具合に備えた大容量データのバックアップにかかる時間など懸念材料が多くあります。

「TapeView MX」は、メガピクセルのMOBOTIXカメラで撮影した大容量画像を、更に画像圧縮ソフト「Mobocomp」で高圧縮し、画像容量を小さくした上で、LTOテープにアーカイブしますので、10年、20年、30年といった長期間の保存を可能とし、さらに録画した画像の簡単検索・再生機能を標準装備しています。また保管時電力不要のテープを使用することにより、保管のためのコスト全体を低減します。

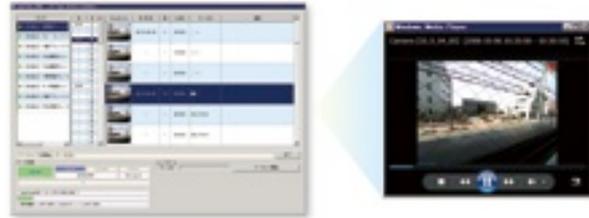
また、LTOテープを交換後、物理的に運搬をすることが可能なため、インターネットなどで転送するには難しかった高解像度で高フレームレートの大容量画像データも、管理が煩雑になる拠点で管理する必要なく、本部などの中央で一括管理することが可能になります。

LTFS(*)をインストールすることで、LTFSのパーティショニング機構により、LTOテープ装置をあたかもUSBメモリーやリムーバブル・ディスクであるかのようにテープをファイルシステムとしてアクセスすることができ、テープから直接画像再生が可能です。「TapeView MX」は、LTFS機能を最大限に活用し、今までのVTR方式の監視カメラシステムでは考えられなかったテープメディアでありながらHDDと同様な「アーカイブ画像のサムネイル形式による可視化」と「再生したい画像のみを再生できる操作性」を実現しました。テープデータ容量（LTO5メディア非圧縮1.3TB）を管理しておりますので、テープ交換中もカメラは録画を停止することなく、テープ未記録画像は失われません。また、バーコードによる大量の録画テープ管理が可能であり、アーカイブ用テープの挿入、再生時の選択ミスを低減します。

TapeView検索システムの簡単検索・再生機能は、下図のようにノートPCと弊社のUSB3.0対応LT50 USB LTOテープ装置を使用することにより、外部と隔離されたセキュリティレベルの高い管理場所でも、いつでもどこでも検索・再生が可能です。またLTOテープは低価格であり、保管時の電力が不要ですのでECOで低コストな長期保存用メディアです。本製品は、必要なソフトウェアを事前にインストールしアプライアンスとしてご提供いたしますので、監視カメラが設置されていれば、ご購入後すぐにお使いいただくことができます。

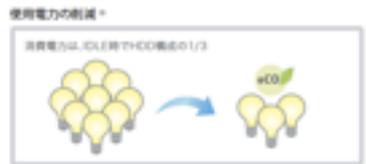
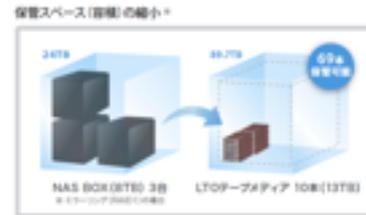
(*) LTFSはテープで初のファイルシステムです。LTOテープをデータ記録領域とインデックス領域に2分割、データ記録領域に記録されるデータはすべて追記型で書き込みますので、すでに書かれているデータ領域には一切変更が加わりません。インデックス領域は、ファイルシステムが更新とともに上書きされ最新の状態を記録します。

《構成例》



お客様にとってのメリット

- ・アーカイブした録画データの長期保存が可能
- ・HDDに比べ、保管スペースが大幅に縮小
- ・LTOテープは、物理的運搬により、本部などで一括管理が可能
- ・設置カメラ数や録画したデータの収集条件に影響を受けない
- ・録画したデータのサムネイル管理によりアーカイブ作業の可視化が可能
- ・バーコードリーダにより大量の録画テープのメディア管理が可能
- ・録画データの保存量が増えても消費電力は増えないECOシステム



※ CO削減はLTOテープの24時間、15分7巻、消費電力ソフトウェアは11.5W、2年間の録画アーカイブ(12TB)の場合

製品概要

TapeView MX

ソフトウェア	TapeView2000 LTOアーカイブソフトウェア
サーバ	Memory 2GB / HDD (RAID1対応) 2TB / Windows 7
LTOドライブ	SAS対応 LTO5
LTOカートリッジ	LTO5対応カートリッジ
バーコードリーダ	可視光半導体レーザスキャナ、USB対応

TapeView 検索システム

ソフトウェア	TapeView 2 0 0 0 検索ソフトウェア
ノートPC	USB3.0対応機種
LTOドライブ	USB3.0対応 LT50 USB
バーコードリーダ	可視光半導体レーザスキャナ、USB対応

録画画像圧縮ソフト

画像圧縮ソフト	Mobocomp
---------	----------

MOBOTIXカメラシステム

IP 監視カメラ	MOBOTIX社 全機種 2~10台接続対応 (例: Q24、M12)
----------	-------------------------------------

本件に関するお問い合わせ先

(一般) 株式会社 ユニテックス 営業本部
 Tel. (042) 710-4630 E-mail. sales@unitex.co.jp
 (報道関係) 株式会社 ユニテックス TapeView MX プレス担当
 Tel. (042) 710-4630 E-mail. news@unitex.co.jp

株式会社ユニテックスについて：

住所： 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル
代表者： 代表取締役社長 土田 義徳
資本金： 9,000万円
事業内容： 金融システムソリューションの開発・販売
メインフレーム・テープ&ストレージソリューションの開発・販売
データ変換・交換ソリューションの開発・販売
コンピュータストレージシステム、およびソフトウェアの開発・販売
URL： <http://www.unitex.co.jp>

お問い合わせ先：

MOBOTIX JAPAN (モボティックス ジャパン)

Tel：045-227-6174

Fax：045-227-6286

e-mail：cam-sales@mobotix.jp

www.mobotix-japan.net

MOBOTIX JAPANについて：

MOBOTIX JAPANは、**MOBOTIX AG**の日本パートナーである株式会社**K.J.フェロー**により運営されています。

MOBOTIX JAPANは、**MOBOTIX**の日本総輸入販売代理店です。

K.J.フェローについて：

株式会社**K.J.フェロー**は、2003年10月に創業。ネットワークカメラ、セキュリティ関連の海外製品の輸入販売、コンサルティング専門のIT&セキュリティ技術商社です。**MOBOTIX JAPAN**を運営し、日本市場開拓を担っています。

www.kjfellow.com